

## 米国関税措置に関する県内事業者等へのヒアリング結果

### 1 相談窓口への問合せ状況

#### 【愛知県の相談窓口】

- 相談件数 8 件（4月3日～4月18日）
- 主な相談内容
  - ・ 自社製品が今回の関税措置の適用対象となるか。
  - ・ 関税措置に対して利用可能な融資制度について、要件を知りたい。
- 相談のあった主な業種
  - ・ 製造業（自動車部品、自動車以外）、その他

#### 【JETRO 相談窓口への県内事業者の問合せ状況】

- 相談件数 77 件（2月2日～4月14日）
- 主な相談内容
  - ・ 自社製品が今回の関税措置の適用対象となるか。
  - ・ 自社製品に関税措置が適用される場合、税率は何パーセントになるか。
- 相談のあった主な業種
  - ・ 輸送用機械機器製造業、商社・貿易業、窯業 等

### 2 自動車産業

#### 【業界団体】

- 会員企業からは関税関連の相談は今のところあまりない。
- 現時点で必要と思われる支援策は、資金繰り支援や相談窓口など。後は、具体的な影響が判明してこないと、どのような支援策が必要か分からない。
- 影響が出てくるのはしばらく先ではないかと考えている。

#### 【県内の自動車サプライヤー A 社】

- 現時点では、取引先からの発注調整等はない。
- 今後、取引先から、関税の影響による減産や現地生産への切り替え要求があるのでと予想。また現地ローカルサプライヤーへの転注を懸念。
- 現地生産の切り替えを検討中だが、設備の状況や現地労務費、為替などから考えると現地調達化を進めることは難しい。
- 価格転嫁に関する発注元への働きかけや、ビジネス機会の創出につながる展示会の出展支援をお願いしたい。

#### 【県内の自動車サプライヤー B 社】

- 関税発表時に発注元から注文数の調整の可能性について話があったが、関税の動向が不明なため今はしていない。
- 関税の撤廃や引き下げの働きかけをお願いしたい。

#### 【県内の自動車サプライヤー C 社】

- 北米輸出を担当している商社と、追加関税が継続的に適用される場合に備えて、追加関税分の対応について相談があった。
- 現時点では情勢の見極めを行っている段階だが、保護貿易が加速すれば、現地生産の拡大も選択肢に入ってくる。

### 3 航空宇宙産業

#### 【県内の航空関係 A 社】

- 主要な取引は米国の受入先企業で関税を負担するという形での取引であり、現時点での影響はないが、今後の影響について調査している。

#### 【県内の航空関係 B 社】

- 現時点では影響はない。取引先メーカーが受ける影響について情報がないため、二次的な影響の可能性等についての情報が欲しい。

### 4 ロボット産業

#### 【県内ロボット製造メーカー A 社】

- 関税動向が不明でどうしたら良いかわからないという不安がある。
- はっきりしたことが決まっておらず動けないという状況。

#### 【県内ロボット製造メーカー B 社】

- 少し遠い将来の不安は感じている。
- 中国や台湾のメーカーを介して製品が米国に輸出されているが、今後、中国・台湾に輸出する際に何かしらの影響はあると想定している。

#### 【県内ロボット製造メーカー C 社】

- 産業用ロボットは設備投資であるため、米国における設備投資計画に変動がなければそこまで大きな影響は出ないと考えている。
- 世界規模で設備投資を控えるなどして、景気減速フェーズに入った場合には影響を受ける可能性がある。

## 5 工作機械産業

### 【県内工作機械製造メーカーA社】

- 関税措置の動向は日々変わっており、今は様子見という状況。
- 素材メーカーなど、サプライチェーンへの影響もあると思うが、現時点では分からない。
- 受注減っているなどの影響は現時点ではない。
- 将来的には設備投資が控えめになり、受注が減る可能性はある。
- 対策としては、関税分をそのまま販売価格に価格転嫁することが理想。需要の変化を様子見しながら判断していく。
- 米国に生産拠点を作るという対策もあるが、当社ではやらない。

### 【県内工作機械製造メーカーB社】

- 相互関税の運用には不明確な点もあり、また、適用内容についても度々変更されている状況にあるため、現時点では動向を注視している状況。

## 6 地場産業（日本酒、窯業、繊維）

### 【日本酒業界団体】

- 酒は嗜好品で価格帯も広いいため、関税による影響が出るかどうかは長い目で見る必要がある。
- 県内の蔵元も様々であり、国内に注力している蔵元や、輸出にも注力している蔵元など様々であり、蔵元ごとに輸出のターゲットとしている国も異なっている。国内向けのみ蔵元は、関税の影響はないと思う。
- 米国関税よりも米の価格上昇の方が蔵元に与える影響は大きい。

### 【窯業業界団体】

- 対米国への輸出はほとんどないため、直接的な影響を受けているという話は聞いていない。
- 産地としてアメリカが特に大きな取引先ではなく、各窯元が個人個人でSNSを利用してアメリカのバイヤーと直接取引している。金額が大きくないので、あまり影響はないのではないかと。
- ファインセラミックスは、自動車関連向けの取引があるので、影響が出ないようにと思っている。今のところ問題があるとは聞いていない。

### 【繊維業界団体】

- 対米国の取引をしている事業者はあまりいないため、尾州では、直接的な影響を受けているという話は聞いていない。
- トランプ大統領になる可能性が高いと分かった時点で、中国の縫製工場は、ベトナムを始めとした東南アジアへ移すなど、対策はとっていた。

## 7 農業関係

### 【茶生産者A氏】

- 米国にも商品を卸しているが、現状は影響ない。
- 関税により米国内での小売価格が上昇しないよう、卸売価格に対して値引き交渉があれば、対応せざるを得ないと思う。
- 今後の対応については、様子を見たいが、心配している。

### 【茶業団体】

- 生産者の多くは、茶商（製茶問屋）に出荷している。茶商から取引の単価や数量の変更などの情報はない。現状は影響ないが、先行きに不安がある。